

ソロギターで、小さなコンサートショー

Mr. ひと頃は、夜の栄や錦あたりをギター一本で流していたお兄さん。
今は、昼間のデイサービスや施設界限を流し、
時代を築き上げてきた方々を前に、心をこめた弾き語り。
戦前、戦中、戦後の動乱期、人々の心を支えてきた唄々。
日々の生活は苦しくとも、口ずさむ心の唄には、常にはち切れんばかりの
エネルギーが満ち溢れていたよ。
つま弾くギターの音色が、いつしか当時の我が姿を映し出していたね。
思えば遠くへ来たもんだ、この先どこまで行くのやら～。

